

事業報告

(1) 事業の経過及びその成果

当事業年度は、新型コロナウイルスの影響下でいまだ厳しい状況で推移しました。

国内では感染拡大防止の対策やワクチン接種等の効果も相まって、景気が回復していくことが期待されましたが、当公社の駐車場事業におきましても、外出自粛の影響や駐車場の周辺商業施設や公共施設の閉鎖による影響は否めず、厳しい経営環境となりました。

前年度に引き続き、収支の改善が厳しい駐車場の閉鎖やコストの見直しのほか、不要不急の経費投入を控え利益の確保に努めましたが、当期正味財産増減額は▲1億3千900万円となりました。

§ 1 全般の状況

経常収益

24 億 6 千 4 百万円

前年度から 3 億 3 千 6 百万円の増収となりました。
(前年度比 + 13.6 パーセント)

当期
正味財産
増減額

▲ 1 億 3 千 9 百万円

前年度の▲ 2 億 3 千百万円から 9 千 2 百万円増となりました。

正味財産

13 億 9 千 5 百万円

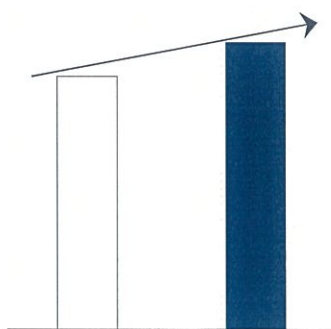
正味財産は期首から▲ 9 パーセント減少となりました。

駐車場事業 (駐車場・駐輪場)

売上高

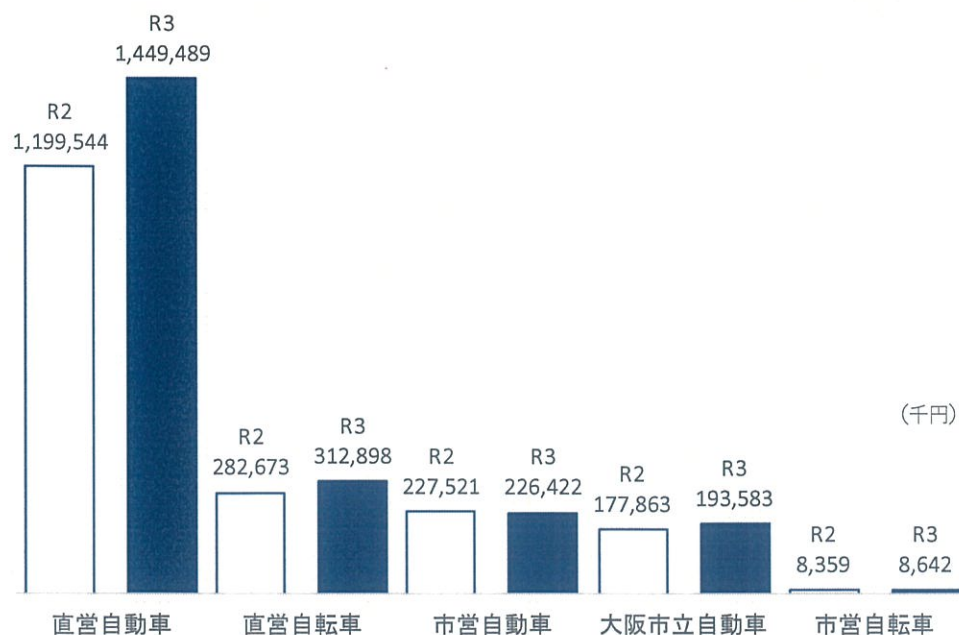
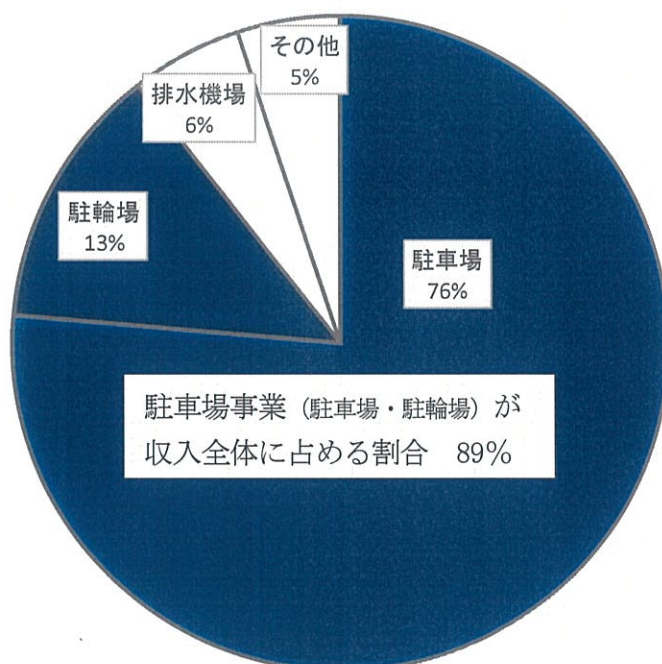
21 億 9 千 1 百万円

(前年度比 15.5% 増)



駐車場事業は、有人管理の駐車場や駐輪場、無人機械式コインパーキングによる直営（自動車・自転車）駐車場のほか、京都市や大阪市から受託管理する市営（自動車・自転車）駐車場を運営することで全売上高の 9 割を占める公社の基幹事業です。

令和 3 年度は京都経済センター駐車場など 6 7 場の新規駐車場・駐輪場を新たに開設しました。

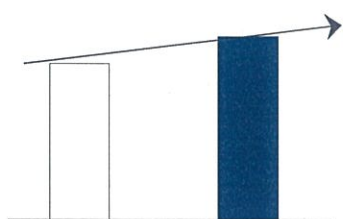


排水機場事業

売上高

1 億 3 千 5 百万円

(前年度比 9.1% 増)



排水機場事業は、局地的な集中豪雨等から、市民の生命と財産を守るために排水機場（13箇所）を管理する事業です。

本川から支川への逆流を防止するゲートを閉めた際に、支川が溢れないよう排水ポンプで強制的に支川の水を本川に排出する施設の維持管理及び運転監視業務を行っています。令和2年度末で更新期限を迎えましたが、当事業年度から新たに契約を更新し、保守管理及び監視業務を受託しました。

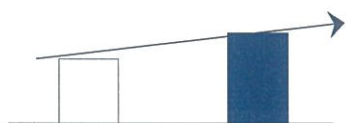
レンタル事業

(レンタサイクル ・
シェアサイクル)

売上高

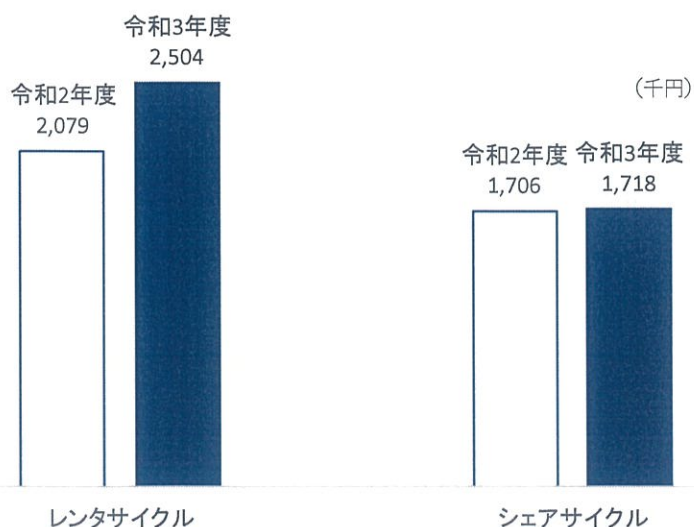
4 百万円

(前年度比 11.5% 増)



車をとめた駐車場から自転車で移動する回帰型の「レンタサイクル(ブランド名:るぽるぽ)」は、観光客による利用が多く、新型コロナウイルスの影響を受けて減少した前年度からは回復しつつあります。

また、市内に多数存在するポート間を移動する乗捨て可能な「シェアサイクル(ブランド名:P i P P A)」の売上は前年同様となりました。



§ 3 企業価値向上に向けた取り組み

持続可能な社会の構築に向け、SDGs に賛同し、公社の事業全体を通じて、環境と景観に配慮した以下のような事業活動を行っています。

例えば、京都に本社を置く公社として京都議定書の趣旨に賛同し、京都市緑の基本計画への協賛、駐車場緑化を通じての「京（みやこ）のみどりの駐車場パートナー制度」に基づく緑化推進に取り組んでいます。

また、太陽光発電設備を利用した自然エネルギーの活用、電気自動車充電設備を設置した駐車スペース、使用済み乾電池等の回収、KES環境マネジメントシステムなどについても、引き続き取り組んでおり、駐車場照明のLED化、アイドリングストップの徹底に向けた周知活動等、これからも環境への配慮を意識した事業活動を進めていきます。

なお、当事業年度は、残念ながらイベント等の開催自粛のため、昨年に続き毎年開催しています「交通安全フェスタ」を開催することができませんでしたが、交通安全思想の普及・啓発のための活動、こども110番のいえ活動、地元自治会の活動、夏まつりなど地域行事に対する協賛、高齢者雇用や少子化対策、社会的弱者への支援など社会貢献について、これからも継続的に取り組んでいきます。

(2) 設備投資の状況

当事業年度は、京都経済センター駐車場の機器設置（3,500万円）や新田辺駅東駐輪場の機器設置（2,100万円）、淀高架下駐車場整備（600万円）など、新規駐車場・駐輪場の開設のために必要な駐車機器、看板、舗装等についての支出のほか、先斗町バイク駐車場の場内改修（1,000万円）等、合わせて1億5,000万円を投資しました。

(3) 資産及び損益の状況の推移

(単位 千円)

	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)
経常収益	2,368,442	2,128,525	2,464,575
当期正味財産増減額	59,480	△ 231,451	△ 139,352
正味財産	1,766,070	1,534,618	1,395,266
資産合計(総資産)	2,416,390	2,382,227	2,200,199

(4) 今後の取り組み

感染拡大防止対策、ワクチン接種等の効果もあって景気は回復傾向にあることが期待され、外出機運の高まりで国内旅行をはじめとした人の移動が活発化しつつあることから、社会状況を注視しながら、公社ブランド「くるっとパーク」事業展開に取り組んでいきます。

また、指定管理者等の公募事業が受託できるよう積極的に応募していきます。令和4年度からは、交野市自転車駐車場（12箇所）及び新田辺駅東自転車駐車場（京田辺市）の受託管理を開始しています。

営業・サービス面では、国・地方自治体の指針に則った対応をもって施設管理を行い、感染症対策及び経済再生のための対策等に注意し、お客様や地域の方々、従業員その他関係者の健康と安全を第一に事業に取り組んでいきます。